

シラバス 学校番号11

令和4年度

富山県立富山西高等学校

単位数	教科(科目)	学年・組	教科書名	使用教材			
2	現代の国語	1学年全	新編 現代の国語 (第一学習社)	新編現代の国語(第一学習社) 現代文ウイニングクリア(尚文出版) 常用漢字の1・2トライ(浜島書店)			
指導の 目標	国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。						
評価の 観点	①知識及び技能	②思考力・判断力・表現力	③主体的に学習に取り組む態度				
	言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。				
月	単元	時数	学習内容	評価方法	評価の観点		
					①	②	③
4	『『未知』はいくらでもある』	6	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の経験や考え方を理解する。 筆者の体験を自身に照らして考えを深める。 随想独特の表現の工夫を理解する。 	定期考査 ノート点検 活動の様子 提出物	○	○	○
5	「ナマケモノになる」	7	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の主張を理解する。 内容や構成、論理の展開を整理して理解する。 語句の意味を正しく理解し、語彙を増やす。 	定期考査 ノート点検 活動の様子 提出物	○	○	○
6	「言語としてのピクトグラム」 「言葉の海のオノマトペ」	6	<ul style="list-style-type: none"> ピクトグラムや音声など「言語」の様々な機能を理解し、言語表現の多様性について考えを深める。 写真や音声などの情報と意味を関連付けながら、文章の内容を的確に理解する。 ピクトグラムの案やオノマトペを使った短文を作り、自分の考えを説明する。 	定期考査 ノート点検 活動の様子 発表 提出物	○	○	○
7	言語活動 「話し方の工夫」 「スピーチで自分を伝える」 「待遇表現」	4	<ul style="list-style-type: none"> 話し言葉と書き言葉の特徴を理解し、相手・目的・場面に応じた言語表現をする。 敬語表現を意識した言葉遣いを理解する。 相手や場に応じた表現を選択して使い方を理解する。 	活動の様子 発表 ノート点検 提出物	○	○	○

月	単元・学習内容	時数	学習内容	評価方法	評価の観点		
					①	②	③
9	「論理的な表現」 「情報の探索と選択」 「情報源の明示」 「書き方の基礎レッスン」 「身近な製品の取扱説明書を作成する」 論理分析 対比 『『間』の感覚』	8	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的に表現するための、主張と理由の関係性や妥当性について理解する。 ・表記・表現の基本的なきまりを理解し、接続表現や比喻などの表現技法を理解する。 ・対比構造を用いた論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・主張と根拠、個別と一般化など情報と情報の関係を理解する。 ・論理の展開を分析的に読み、要約や図にまとめる。 	定期考査 ノート点検 活動の様子 発表 提出物	○	○	○
10	「十六歳のとき」 「臆病な詩人、街へ出る」	7	<ul style="list-style-type: none"> ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・筆者の旅を追体験し、筆者の体験が人生に与えた影響について考えを深める。 ・語句の意味を正しく理解し、語彙を増やす。 	定期考査 ノート点検 活動の様子 提出物	○	○	○
11	『『弱いロボット』の誕生』 「人はなぜ仕事をするのか」	8	<ul style="list-style-type: none"> ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・物事に対する筆者の考え方を知り、自身の考えを深める。 ・語句の意味を正しく理解し、語彙を増やす。 	定期考査 ノート点検 活動の様子 発表 提出物	○	○	○
11	「イースター島に なぜ森がないのか」 『『材料科学』のゆ くえ』	4	<ul style="list-style-type: none"> ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・筆者が提示する人類と生態系や、人類と科学の発展との関係について理解する。 ・持続可能性や科学の発展について、自身の考えを深める。 	定期考査 ノート点検 活動の様子 発表 提出物	○	○	○
12	言語活動 「相手に伝わる案内 をする」 「理想の修学旅行を プレゼンする」		<ul style="list-style-type: none"> ・目的に沿って、他者に対して的確に情報を説明する。 ・発表者と評価者を務め、お互いの発表を評価する。 	定期考査 活動の様子 発表 ノート点検 提出物	○	○	○

月	単元・学習内容	時数	学習内容	評価方法	評価の観点		
					①	②	③
1	論理分析 具体と抽象 「日本語は世界を このように捉える」 推論 「AIは哲学できる か」	7	<ul style="list-style-type: none"> ・一般化と具体例、主張と論拠など、情報と情報の関係を理解する。 ・文章の構造や要旨を把握し、具体例や仮説を多用した論理の展開について理解する。 	定期考査 活動の様子 発表 ノート点検 提出物	○	○	○
2	「図書委員会のポスターの掲示内容を検討する」 「法律の改正に関わる文章を読み比べる」	4	<ul style="list-style-type: none"> ・資料や会話文等に関連付けながら、必要な情報を読み取る。 ・異なる形式で書かれた複数の文章を読み、理解したことをまとめる。 	定期考査 活動の様子 発表 ノート点検 提出物	○	○	○
3	言語活動 「地域の魅力を紹介する」 「実用的な手紙文の書き方」 「自校の生徒の生活実態を調査する」 「社会に対する意見文を書く」 「合意形成のための話し合いを行う」	5	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を的確に紹介する方法を理解する。 ・必要な情報や資料を収集・整理し、わかりやすく説明する。 ・お互いの発表を批評し合い、表現の工夫について考えを深める。 	活動の様子 発表 ノート点検 提出物	○	○	○

シラバス 学校番号11

令和4年度

富山県立富山西高等学校

単位数	教科(科目)	学年・組	教科書名	使用教材			
3	言語文化	1学年全	新編 言語文化 (第一学習社)	新編言語文化(第一学習社) 古典ウイニングクリア1(尚文出版) 古典文法クリアノート(尚文出版)			
指導の 目標	国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。						
評価の 観点	①知識及び技能	②思考力・判断力・表現力	③主体的に学習に取り組む態度				
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、伝統的な言語文化の特質や言葉のきまりなどに対する理解を深めている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。				
月	単元	時数	学習内容	評価方法	評価の観点		
					①	②	③
4	小説 「よろこびの歌」 「島の少年一船」	8	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の構成をとらえて概要を把握し物語の展開を理解する。 ・登場人物の心情を、それぞれの立場に立って読み解き、心情の変化を理解する。 	定期考査 ノート点検 活動の様子 提出物	○	○	○
5	「古文の学習」 「鳩と蟻のこと」 「古文を読むために①」 「一休ばなし」 「児のそら寝」 「古文を読むために②」 「なよ竹のかぐや姫」 「古文を読むために③」	11	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣いについて、文語のきまりや読み方を理解する。 ・説話や作り物語という文章の種類をふまえて、内容を的確にとらえる。 ・特に古今異義語や動詞の活用について理解し、語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・現代に通じる人間のありようや物語の読み取りを通して、古文の世界に親しむ。 	定期考査 ノート点検 活動の様子 提出物	○	○	○
6	「漢文の学習」 「訓読に親しむ(一)～(三)」 「漢文を読むために①～③」 故事成語 「五十歩百歩」 「矛盾」 「狐借虎威」	9	<ul style="list-style-type: none"> ・訓読のきまりや訓点のつけ方を学ぶ。 ・書き下し文に直し、内容を的確にとらえる。 ・故事成語の意味を調べ、用法をとらえることで語彙を豊かにする。 ・古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 	定期考査 ノート点検 活動の様子 提出物	○	○	○

月	単元・学習内容	時数	学 習 内 容	評価方法	評価の観点		
					①	②	③
7	詩 「道程」 「小景異情」 「六月」 「I was born」	6	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの詩や詩人の特徴を理解し、作者の思いを読み取る。 詩の種類や、表現技法とその効果について理解する。 詩のイメージを共有し、考えたことを発表する。 	定期考査 ノート点検 活動の様子 提出物 発表	○	○	○
9	小説 「羅生門」 「ほねとたね」	1 2	<ul style="list-style-type: none"> 全体の構成をとらえて概要を把握し物語の展開を理解する。 登場人物の行動や会話をもとに、心情の変化を的確に捉える。 物語の主題や、登場人物のその後について考え発表する。 	定期考査 ノート点検 活動の様子 提出物 発表	○	○	○
1 0	「徒然草」 「枕草子」 「方丈記」 「古文を読むために④」	1 0	<ul style="list-style-type: none"> 作者の関心事や当時の人々の生活を読み取り、内容を的確に把握する。 作品に表れたものの見方や美意識を理解し、その特徴について考える。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 	定期考査 ノート点検 活動の様子 提出物	○	○	○
1 1	小説 「鏡」 「よだかの星」 自伝 「わたしはマララ」	1 2	<ul style="list-style-type: none"> 作品の内容や構成、展開を的確に捉える。 作品に含まれる寓意や、登場人物が置かれた状況・言動から、人間の内面を読み取る。 暗喩や比喩の効果、表現の工夫が果たす役割を理解する。 	定期考査 ノート点検 活動の様子 提出物	○	○	○
1 2	唐詩の世界 「春暁」「静夜思」 「送元二使安西」 「春望」「香炉峰下新卜山居…」 日本の漢詩 「読家書」 「桂林荘雑詠、示諸生」 「道情」	6	<ul style="list-style-type: none"> 漢詩を訓読し、口語訳する。・作品に表れる自然の情景や人事に向けた思いを的確に読み取る。 漢詩のきまりや表現技法を理解する。 読まれた心情を理解し、現代語で自分なりの訳詞を書いて発表する。 	定期考査 ノート点検 活動の様子 提出物 発表	○	○	○

月	単元・学習内容	時数	学 習 内 容	評価方法	評価の観点		
					①	②	③
1	「伊勢物語 筒井筒」	10	<ul style="list-style-type: none"> ・歌物語の特色をふまえ、話の内容や展開を的確に捉える。 ・物語の登場人物の行動や心情を表現に即して読み味わう。 ・平安貴族の生活や美意識、ものの見方や考え方について理解する。 ・和歌の表現技法や用言の活用について理解し、語彙を豊かにする。 	定期考査 ノート点検 活動の様子 提出物	○	○	○
2	「人形浄瑠璃文楽 —三位一体の技— 「祭りの笛」	7	<ul style="list-style-type: none"> ・随筆の特徴をふまえ、内容や構成、展開を的確に捉える。 ・我が国の伝統芸能に関して、扱われている題材や関連する事柄について調べ、資料にまとめる 	定期考査 ノート点検 活動の様子 提出物	○	○	○
	「万葉・古今・新古今」		<ul style="list-style-type: none"> ・和歌の修辞技法や鑑賞の仕方について理解する。 ・作品に表れる自然の情景や心情を的確に読み取る。 ・読まれた心情を理解し、現代語で自分なりの訳詞を書いて発表する。 	定期考査 ノート点検 活動の様子 提出物	○	○	○
3	「奥の細道」	3	<ul style="list-style-type: none"> ・俳諧紀行文の特徴をふまえ、内容や展開を的確に捉える。 ・作者の旅程を追体験し、作品に表れているものの見方や感じ方を考える。 ・俳句のきまりや語句について理解し、語彙を増やす。 	定期考査 ノート点検 活動の様子 提出物	○	○	○
	「両頭蛇」 「梟逢鳩」		<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の行動や話の展開を把握し、作品中に示された教訓や寓意を的確に読み取る。 ・作品に表れているものの見方や考え方を理解する。 	定期考査 ノート点検 活動の様子 提出物	○	○	○

シラバス 学校番号 1 1

令和 4 年度

富山県立富山西高等学校

単位数	教科 (科目)	学年・組	教科書名	使用教材			
2	公共	1 学年・全	高等学校 公共 (第一学習社)	最新図説 公共 公共ノート			
指導の 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の諸問題を捉え、基本的問題と人間に関わる事柄に対する関心を高め、基本的な事柄や知識を身に付ける。 ・そこから現代社会の諸課題を見だし、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断する力をつける。 ・意欲的に課題を追及し、人間としての在り方生き方について自覚を深める 						
評価の 観 点	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; border-right: 1px solid black; padding: 5px;"> ① 知識及び技能 ・単元で扱われる事柄を理解する上で必要な、概念や理論を表す用語を習得する。 </td> <td style="width: 33%; border-right: 1px solid black; padding: 5px;"> ② 思考力・判断力・表現力 ・社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連性を考えることができる。 ・習得した用語を、自分の言葉、表現で説明することができる。 </td> <td style="width: 33%; padding: 5px;"> ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・よりよい社会の実現に向けて、主体的に学習に取り組むことができる。 </td> </tr> </table>				① 知識及び技能 ・単元で扱われる事柄を理解する上で必要な、概念や理論を表す用語を習得する。	② 思考力・判断力・表現力 ・社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連性を考えることができる。 ・習得した用語を、自分の言葉、表現で説明することができる。	③ 主体的に学習に取り組む態度 ・よりよい社会の実現に向けて、主体的に学習に取り組むことができる。
① 知識及び技能 ・単元で扱われる事柄を理解する上で必要な、概念や理論を表す用語を習得する。	② 思考力・判断力・表現力 ・社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連性を考えることができる。 ・習得した用語を、自分の言葉、表現で説明することができる。	③ 主体的に学習に取り組む態度 ・よりよい社会の実現に向けて、主体的に学習に取り組むことができる。					
月	単元	時 数	学習内容	評価方法	評価の観点		
					①	②	③
4	第1編 公共の扉 第1章 公共的な空間をつくる 私たち I 公共的な空間と人間とのかかわり 1社会に生きる私たち 2個人の尊厳と自主・自律 3多様性と共通性 4キャリア形成と自己実現 II 社会に参画する自立した主体として 1伝統や文化とのかかわり 第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 I 人間としてのあり方生き方についての探求 1人間と社会のあり方についての見方・考え方 2実社会の事例から考える～環境保護	5	<ul style="list-style-type: none"> ・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などのさまざまな集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることを学ぶ。 ・古今東西の先人の取り組み、知恵などを踏まえ、社会に参画する際の選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論を理解する。 ・古今東西の先人の取り組み、知恵などを踏まえ、公共的な空間における基本的原理を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・プリント提出 ・定期考査 	○	○	○
5	第3章 公共的な空間における基本的原理 I 自立した主体とな	7			○		

9	<p>第2章 政治的な主体となる私たち</p> <p>主題4 政治参加と公正な世論の形成</p> <p>1選挙の意義と課題</p> <p>2政治参加と世論形成</p> <p>3国会と立法</p> <p>4内閣と行政の民主化</p> <p>5地方自治と住民の福祉</p> <p>主題5 国際社会と国家主権</p> <p>1国家と国際法</p> <p>2国境と領土問題</p> <p>3国際連合の役割と課題</p>	8	<p>き責任を理解する。</p> <p>・国際社会を実現するために必要な日本の役割を理解する。</p>		○	○	○
10	<p>主題6 日本の安全保障と防衛</p> <p>1平和主義と安全保障</p> <p>2核兵器の廃絶と国際平和</p> <p>主題7 国際社会の変化と日本の役割</p> <p>1今日の国際社会</p> <p>2人種・民族問題と地域紛争</p> <p>3国際社会における日本の役割</p>		<p>・公正かつ自由な経済活動をおこなうことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解する。</p> <p>・少子高齢化による労働力不足が問題となる中、活発な経済活動と労働者の働きやすさを共に成り立たせるために必要なことを理解する。</p> <p>・グローバル化・情報化・少子高齢化が進む現代社会において、将来の働き方をどう考えていけばよいか理解する。</p> <p>・公正で自由な経済活動を通して、市場が効率的な資源配分を実現できるしくみを理解する。</p>		○	○	○
11	<p>第3章 経済的な主体となる私たち</p>	8			○		○

2	<p>主題13 経済のグローバル化</p> <p>1国際分業と国際貿易体制</p> <p>2国際収支と為替相場</p> <p>3経済のグローバル化と日本</p> <p>4地域的経済統合の動き</p> <p>5国際社会における貧困や格差</p> <p>6地球環境問題</p> <p>7資源・エネルギー問題</p> <p>8国際社会のこれから</p>	8			○		○
3	<p>第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち</p> <p>①地球環境問題～排出量取引を考える</p> <p>②資源・エネルギー問題～ベストミックスを考える</p> <p>③生命倫理～ゲノム編集を考える</p> <p>④情報～インターネットによる投票を考える</p> <p>⑤国際社会の課題～フェアトレードを考える</p>	4				○	○

シラバス 学校番号 1 1

令和 4 年度

富山県立富山西高等学校

単位数	教科 (科目)	学 年・組	教科書名	使用教材
4	数学 (数学 I)	第 1 学 年 全クラ ス	最新 数学 I (数研出版)	パラレルノート数学 I はぎ取り式練習ドリル数学 I

指導の目標 数と式, 2次関数, 図形と計量及びデータの分析について理解させ, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察する能力を培い, 数学のよさを認識できるようにするとともに, それらを活用する態度を育てる。

評価の観点	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③主体的に学習に取り組む態度
	数と式, 図形と計量, 2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに, 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し, 数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力, 図形の構成要素間の関係に着目し, 図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力, 関数関係に着目し, 事象を的確に表現してその特徴を表, 式, グラフを相互に関連付けて考察する力, 社会の事象などから設定した問題について, データの散らばりや変量間の関係などに着目し, 適切な手法を選択して分析を行い, 問題を解決したり, 解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度, 粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度, 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

月	単元	時数	学習内容	評価方法	評価の観点		
					①	②	③
4	第 1 章 数と式 第 1 節 数と式 1 多項式 2 多項式の加法・減法・乗法 3 展開の公式 4 式の展開の工夫 5 因数分解 6 いろいろな因数分解 第 2 節 実数 7 実数 8 根号を含む式の計算 第 3 節 1次不等式 9 不等式 10 不等式の性質 11 1次不等式の解き方 第 2 章 集合と命題 1 集合と部分集合 2 共通部分, 和集合, 補集合	4 5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 整式の整理の方法, 整式の加法・減法を理解する。 ・ 整式の乗法を学習し, より効率よく展開するために公式を利用することを理解する。 ・ 共通因数をくくり出すことや公式を使って因数分解する方法を理解する。 ・ 無理数, 実数の意味とその性質を理解する。 ・ 平方根の意味やその計算, 有理化の方法を理解する。 ・ 数量関係を不等式で表す。また, 不等式の性質や不等式の解の意味を理解する。 ・ 1次不等式の解法を理解し, それを利用して身近な事象について考察する。 	定期考査 小テスト プリント 授業ノート 問題集 週末課題 学習活動への参加の仕方や態度 質問に対する発表の内容	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

<p>2</p> <p>3</p>	<p>第5章 データの分析</p> <p>1 データの整理</p> <p>2 データの代表値</p> <p>3 データの散らばり</p> <p>4 データの相関</p> <p>5 相関係数</p> <p>6 分割表</p> <p>7 仮説検定の考え方</p>	<p>10</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・データに関する基本的な用語・記号を理解する。 ・データを適切に表し、データの傾向をとらえる。 ・2つのデータを散布図に表し、2つのデータの相関関係の有無を判断する。 ・2つのデータの間接関係、相関係数を計算することにより具体的に数値で表し、判断する。 ・分割表の意味を理解し、数値の割合を計算して新たな表を作成する。 ・仮説検定の考え方を理解し、具体的な事象に当てはめて考える。 			
-------------------	--	-----------	---	--	--	--

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
理科・物理基礎	2学年	2	改訂版 物理基礎 (数研出版)	リードLightノート物理基礎 (数研出版)
科目の概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・物理の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的なものの見方・考え方を育成する。 ・身近な運動や物理現象について、興味・関心を持たせる。 ・基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につける。 			
単元	学習内容	到達度目標		
第1部 物体の運動とエネルギー 第1章 物体の運動 第2章 力と運動 第3章 仕事とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・速さと速度 ・加速度 ・落下する物体の運動 <ul style="list-style-type: none"> ・力 ・運動の法則 ・運動方程式の応用 ・圧力と浮力 <ul style="list-style-type: none"> ・仕事 ・運動エネルギーと位置エネルギー ・力学的エネルギーの保存 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の多様性と基本的な概念や原理・法則が理解できる。 ・運動の3法則が理解できる。 ・仕事、仕事の原理、仕事率、エネルギーの基本概念が理解できる。 		
第2部 物理現象とエネルギー 第1章 熱とエネルギー 第2章 波とエネルギー 第3章 電気とエネルギー 第4章 エネルギーとその利用 ・いろいろなエネルギーとその利用	<ul style="list-style-type: none"> ・熱とは何か ・熱量 ・熱の利用 <ul style="list-style-type: none"> ・波の伝わり方 ・波の性質 ・音波 ・音源の振動 <ul style="list-style-type: none"> ・静電気 ・電流 ・交流と電磁波 	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーと熱の関係を理解できる。 ・波動の基本性質である、振幅・波長・振動数・周期 ・波の速さや縦波・横波、干渉・回折を理解できる。 ・音の波動としての性質や特有の性質を理解できる。 ・私たちの日常生活において電気がいかに大切なものかを知り、それぞれの関係を理解できる。 ・エネルギー資源にはどのようなものがあり、それらの特徴を理解できる。 		

シラバス 学校番号 1 1

令和 4 年度

富山県立富山西高等学校

単位数	教科 (科目)	学年・組	教科書名	使用教材			
2	理科 (化学基礎)	1 年 (全)	化学基礎 (東京書籍)	ニューステップアップ 化学基礎 (東京書籍)			
指導の 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 ・物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 						
評価の 観 点	① 知識及び技能		② 思考力・判断力・表現力	③ 主体的に学習に取り組む態度			
	日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。		物質とその変化から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	物質とその変化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
月	単元・学習内容	時数	学習活動	評価方法	評価の観点		
					①	②	③
4	1 編 化学と人間生活 1 章 化学とは何か	2	・身近な物質がどのような元素でできているか、元素記号と共に種類と性質を理解する。	プリント 授業態度 発問評価 ワーク 実験	○		○
	2 章 物質の成分と構成元素	5			○	○	○
5	1 節 物質の成分 2 節 物質の構成元素 3 節 物質の三態				○	○	○
	2 編 物質の構成 1 章 原子の構造と元素の周期表	5	・原子は、陽子・中性子・電子からなり万物の根源であることを学習する。	プリント 授業態度 発問評価 ワーク 考査	○		○
	1 節 原子の構造 2 節 電子配置 3 節 元素の周期表				○	○	○
6	2 章 化学結合 1 節 イオンとイオン結合	1 4			・イオン結合と共有結合の違いに注意して化学結合のしくみを理解する。	プリント 授業態度 発問評価 ワーク	○
	2 節 分子と共有結合		○	○			○
7	3 節 金属と金属結合 4 節 化学結合と物質の分類		・金属の共通した性質を、金属を構成する原子どうしの結合と関連づけて理解する。	実験 考査	○	○	○
					○	○	○
9	3 編 物質の変化 1 章 物質と化学反応式	1 0	・化学反応式は化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを理解する。 ・化学の進歩の歴史と基本的な法則の発見の経緯について理解する。	プリント 授業態度 発問評価 ワーク 考査 実験	○		○
	1 節 原子量・分子量・式量				○	○	○
1 0	2 節 物質質量				○	○	○
	3 節 溶液の濃度				○	○	○
	4 節 化学反応の表し方 5 節 化学反応式の表す量的関係				○	○	○

1 1	2章 酸と塩基 1節 酸と塩基 2節 水素イオン濃度とpH	1 6	・身のまわりの現象とpHの関係と共通する性質や特徴を学ぶ。 ・モル濃度によりpHが決定されることを理解する。	プリント 授業態度 発問評価 ワーク 考査 実験	○		○	○	○
1 2	3節 中和反応と塩 4節 中和滴定				○	○	○	○	
1	3章 酸化還元反応 1節 酸化と還元 2節 酸化剤と還元剤	1 3	・酸化・還元の定義を理解し、酸化還元反応が電子の授受によることを理解する。 ・酸化剤と還元剤の反応と実用電池の形成の関係を理解する。 ・酸化還元反応と日常生活や社会生活との関わりについて理解する。	プリント 授業態度 発問評価 ワーク 考査 実験	○		○	○	○
2	3節 金属の酸化還元反応 4節 酸化還元反応の応用				○	○	○	○	
3	終章 化学が拓く世界	4	・観察実験や調査を通して、化学基礎で学んできたことが日常生活や社会生活を支えている科学技術と結びついていることを理解する。	プリント 授業態度 発問評価 ワーク	○		○	○	○

教科・科目 理科 (生物基礎)	対象学年 2 学年	単位数 2	教科書 改訂新編 生物基礎 (東京書籍)	使用教材 ニューアチーブ 生物基礎 (東京書籍)
<p>科目の概要と目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 生物や生命現象の持つ多様性を踏まえつつ、それらに共通する生物学の基本的な概念や原理・法則を理解する。 2 遺伝子・健康・環境など日常生活や社会に関わるテーマを通して、生物や生命現象に対する興味・関心を高める。 3 観察、実験を通して生物や生命現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解する。 4 生物や生命現象の中から問題や課題を見出し、観察、実験などを通して探究する姿勢を身につける。 			
<p>単元</p>	<p>学習内容</p>	<p>到達度目標</p>		
<p>1 編 生物の特徴 1 章 生物の多様性と共通性 2 章 生命活動とエネルギー</p>	<p>①すべての生物にみられる共通性 ②細胞にみられる多様性と共通性 ③真核細胞原核細胞 ①生命活動を支える代謝と酵素 ②生体内のエネルギー変換</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地球上に存在する多様な生物には共通の特徴がみられ、共通の祖先から進化した結果であることを理解する。 ・共通性のうち、細胞の基本的な構造が同じであることを理解する。 ・細胞は、原核細胞と真核細胞に分類されることをそれぞれの特徴とともに理解する。 ・細胞内では代謝が行われ、同時にエネルギーの出入りや変換を伴うこと、酵素によって進むことを理解する。 ・光合成と呼吸によるエネルギーの変換について、葉緑体とミトコンドリアの形成と共生説について理解する。 		
<p>2 編 遺伝子とのはたらき 1 章 生物と遺伝子 2 章 遺伝情報の分配 3 章 遺伝情報とタンパク質の合成</p>	<p>①DNAの構造 ②DNAとゲノム ①細胞分裂におけるDNAの複製と分配 ①DNAとタンパク質合成 ②遺伝子の発現と生命現象</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・遺伝を担う物質がDNAであること、その構造について理解する。 ・「DNA」「遺伝子」「ゲノム」という言葉の意味を知る。 ・体細胞分裂におけるゲノムの複製と分配のしくみについて理解する。 ・DNAの複製に塩基の相補性が利用されることを知る。 ・タンパク質が生体内で果たす役割を理解する。 ・タンパク質合成に際して、DNAの塩基配列がアミノ酸配列に置き換えられることを理解できる。 ・体細胞はすべて同一のゲノムを持ち、細胞によって発現する遺伝子が異なることが理解できる。 		
<p>3 編 生物の体内環境の維持 1 章 体内環境の維持 2 章 体内環境を保つしくみ 3 章 体内環境を守るしくみ</p>	<p>①内部環境と体液の循環 ②体内環境を調節する器官 ①自律神経系による調節 ②ホルモンによる調節 ③血糖値の調節 ①免疫のシステム ②免疫とヒト</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体内環境が細胞のまわりにある体液であること、体液の状態をほぼ一定に保たれていることを理解する。 ・体液は3種類に分けられることを知る。 ・肝臓と腎臓が、体液の成分やその濃度を調節していることを、構造やしくみをもとに理解する。 ・恒常性の維持には、循環系・自律神経系・内分泌系が関わっていることが理解できる。 ・自律神経系の分布とはたらきを理解する。 ・ホルモンや内分泌系による体内環境の調節のしくみを理解し、フィードバック調節について説明できる。 ・自律神経と内分泌のきょうちょうについて共同して働くことを、血糖濃度の調節を具体例として理解する。 ・病原体などの異物から身を守るために、それらの侵入を防ぐしくみや、それらを白血球やリンパ球のはたらきで排除するしくみがあることを知る。 		
<p>4 編 生物の多様性と生態系 1 章 植生の多様性と遷移 2 章 バイオームとその分布 3 章 生態系とその保全</p>	<p>①生態系における植物の役割 ②植生と遷移 ①地球上の植生分布 ②さまざまなバイオーム ①エネルギーと物質の循環 ②生態系のバランスと保全</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生態系とは生物の集団と非生物的環境の関わりであることを知る。 ・植生が生態系で果たす役割や多様性の維持に重要であること、その変化(遷移)のしくみについて理解する。 ・気温と降水量の違いによって、地球上では様々なバイオームが成立していることを理解する。 ・生態系において物質が循環すること及びそれに伴ってエネルギーが循環することを理解できる。 ・生態系のバランスについて理解し、生態系を保全することが重要であることを認識できる。 		

教科・科目 理科 (地学基礎)	対象学年 2学年	単位数 2	教科書 地学基礎 改訂版 (啓林館)	使用教材 サンダイヤル Navi&トレーニング地学基礎 (啓林館)
科目の概要と目標	日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。			
単元	学習内容	到達度目標		
第1部 固体地球とその変動	地球の概観について学び、その内部構造について理解する。 プレートと地球の活動について理解し、地震や火山活動、火成岩の形成について学ぶ。	活動する地球に関する探究活動を行い、その学習内容の理解を深めるとともに、地学的に探究する能力を高める。 プレートの分布と運動及びプレート運動に伴う大地形の形成について理解する。 火山活動と地震の発生のしくみについて理解する。		
第2部 移り変わる地球	堆積岩とその形成や地層と地質構造について学び、地球の歴史の組み立てについて理解する。 古生物の変遷と地球環境の変化について理解し、先カンブリア時代や顕生代について学ぶ。	地層が形成される仕組みと地質構造について理解する。 古生物の変遷と地球環境の変化について理解する。		
第3部 大気と海洋	大気圏について理解し、水と気象の関係を学ぶ。 地球全体のエネルギー収支について理解し、大気の大循環や海水の循環について学ぶ。 日本で見られる冬から春、夏から秋への季節の気象について学ぶ。	大気の構造と地球全体のエネルギー収支について理解する。 大気の大循環と海水の運動及びそれらによる地球規模の熱の輸送について理解し、日本で見られる季節の気象について学ぶ。		
第4部 宇宙の構成	太陽系の誕生について理解し、太陽の表面の現象と太陽のエネルギー源及び太陽系の天体について学ぶ。 恒星としての太陽の誕生と進化を理解する。 銀河系とまわりの銀河について学び、宇宙の誕生と銀河の分布について理解する。	宇宙の誕生と地球の形成について観察、実習などを通して探究し、宇宙と惑星としての地球の特徴を理解する。		
第5部 自然との共生	地球環境に及ぼす人間活動の影響について理解し、日本の自然災害と防災について学ぶ。	地球環境の変化を科学的に考察する。 日本の自然環境を理解し、その恩恵や災害など自然環境と人間生活とのかかわりについて考察する。		

シラバス 学校番号 1 1

令和 4 年度

富山県立富山西高等学校

単位数	教科(科目)	学年・組	教科書名	使用教材				
1	保健体育 (保健)	1 学年(全)	現代高等保健体育 改訂版 (大修館)	図説現代高等保健 (大修館)				
指導の 目 標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育てる。							
評価の 観 点	①知識及び技能	②思考力・判断力・表現力等	③学びに向かう力、人間性					
	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営もうとする。					
月	単元	時数	学習内容	評価方法	評価の観点			
					①	②	③	
4	現代社会と健康 1. 国民の健康課題 2. 健康の考え方と成り立ち 3. 健康の保持増進のための適切な意思決定や行動選択と環境づくり 4. 現代の感染症とその予防 5. 生活習慣病などの予防と回復	2	我が国の死亡率、受療率、平均寿命、健康寿命など 各種の指標や疾病構造の変化を通して理解する。	ハト点検 行動の観察 定期考査	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	
5		1	健康水準の向上、疾病構造の変化に伴い個人や集団の健康についての考え方も変化してきていることについて理解する。					
6		3	ヘルスプロモーションの考え方に基づき適切な意思決定や行動選択により、自らの健康を適切に管理することが必要であること、環境づくりが重要であることを理解する。 適切な意思決定や行動選択には個人の知識、価値観、心理状態及び人間関係などを含む社会環境が関連していることを理解する。					
7		3	時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られることを理解できるようにする。 感染症の予防には衛生的な環境の整備や検疫、正しい情報の発信、予防接種の普及など社会的な対策とともに、それらを前提とした個人の取組が必要であることを理解できるようにする。					
		5	生活習慣病などを予防するには適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることを理解する。生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることを理解す					

	6. 喫煙、飲酒と健康	2	る。				
	7. 薬物乱用と健康	2	喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねることを理解する 薬物の乱用は、心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから、決して行ってはならないことを理解する。				
9	8. 精神疾患の特徴	2	精神疾患は、精神機能の基盤となる心理的、生物的または社会的な機能の障害などが原因となり、認知、情動、行動などの不調により精神活動が不全になった状態であることを理解する。	ハト点検 行動の観察 定期考査	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
	9. 精神疾患への対処	3	精神疾患の予防と回復には、調和のとれた生活を実践すること、早期に心身の不調に気付くこと、心身に起こった反応については体ほぐしの運動などのリラクゼーションの方法でストレスを緩和することなどが重要であることを理解する。				
10	安全な社会生活						
	10. 事故の現状と発生要因	2	事故は、地域、職場、家庭、学校など様々な場面において発生していること、事故の発生には、人的要因、環境要因などが関連していることを理解する。				
11	11. 安全な社会の形成	2	安全な社会の形成には、法的な整備などの環境の整備、環境や状況に応じた適切な行動などの個人の取組、及び地域の連携などが必要であることを理解する。				
12	12. 交通安全	2	交通事故を防止するには、自他の生命を尊重するとともに、自分自身の心身の状態や周りの環境、車両の特性などを把握すること、個人の適切な行動、交通環境の整備が必要であることを理解する。				
1	13. 応急手当の意義	1	適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を防いだり、傷病者の苦痛を緩和したりすることを理解する。	ハト点検 行動の観察 定期考査 実習	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
	14. 日常的な応急手当	2	日常生活で起こる傷害や、熱中症などの疾病の際には基本的な応急手当の方法や手順があることを、実習を通して理解し応急手当ができるようにする				
2	15. 心肺蘇生法	3	心肺停止状態においては、速やかな気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED（自動体外式除細動器）の使用が必要であること、及び方法や手順について、実習を通して理解し、AEDなどを用いて心肺蘇生法ができるようにする。				
3							

シラバス 学校番号 1 1

令和 4 年度

富山県立富山西高等学校

単位数	教科(科目)	学年・組	教科書名	使用教材			
1	保健	第2学年(全)	現代高等保健体育 (大修館)	図説現代高等保健 (大修館)			
指導の 目 標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育てる。						
評価の 観 点	①知識及び技能		②思考力・判断力・表現力等	③学びに向かう力、人間性			
	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けている。		健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営もうとする。			
月	単元	時数	学習内容	評価方法	評価の観点		
					①	②	③
4	生涯を通じる健康 ・思春期と健康 ・性意識と性行動の選択	2	思春期の体の発達の特徴を学ぶ。男女の性機能について学ぶ。	ノト点検 行動の観察 定期考査	○	○	○
		2	思春期の行動面・心理面を学ぶ。性意識男女差について話し合う。		○	○	○
5	結婚生活と健康 ・妊娠・出産と健康	2	結婚とその後の結婚生活をよりよく過ごすためにはどうしたらよいかを考える。				
		2	妊娠・出産期を健康に過ごすためにどのようなことに注意したらよいか学ぶ。				
6	家族計画と人工妊娠中絶 ・加齢と健康	2	望まない妊娠・出産が起きた場合の問題点を考える。				
		1	高齢者の健康課題について理解を深める。				
7	高齢者のための社会的取り組み	2	健康で過ごすための医療・福祉の連携の在り方について考える。				
		1	保健・医療制度について理解し、さまざまな保健・医療サービスを活用する方法を身につける。				
9	保健制度とその活用 ・医療制度とその活用	2	医薬品の種類と正しい使い方について理解する。				
		2	国の枠を越えた世界規模の保健活動や対策がとられていることを知る。				
10	医薬品と健康 ・さまざまな保健活動や対策	2					
		1	大気汚染・水質汚濁・土壌汚染についてそれぞれ理解を深め、健康面の				

	社会生活と健康		問題と合わせて考える。 自分たちのできる環境対策について考える。				
11	<ul style="list-style-type: none"> ・大気汚染と健康 ・水質汚濁・土壌汚染と健康 ・健康被害の防止と環境対策 	1 2 1	<p>ごみ処理、上下水道整備、し尿処理といった環境衛生活動と、食品の安全を守る食品衛生活動についてのしくみと対策について学ぶ。</p>	<p>1-1点検 行動の観察 定期考査</p>	○ ○	○ ○	○ ○
12	<ul style="list-style-type: none"> ・環境衛生活動のしくみと働き ・食品衛生活動のしくみと働き ・食品と環境の保健と私たち 	2 2 2	<p>働くとはどういうことかについて学ぶ。 職業病について学ぶ。労働災害について学ぶ。 健康的な職業生活を送る上での取り組みや余暇の活用のしかたを知る。</p>				
1	<ul style="list-style-type: none"> ・働くことと健康 ・労働災害と健康 ・健康的な職業生活 	2 1 2					
2							

シラバス 学校番号 1 1

令和 4 年度

富山県立富山西高等学校

単位数	教科(科目)	学年・組	教科書名	使用教材			
3	体育	第1学年(全)	Active sports2022 現代高等保健体育(大修館)				
指導の 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ● 運動の合理的、計画的な実践を通して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するため、運動の多様性や必要性について理解できるようにするとともに、それらの技能を身につけることができるようにする。 ● 生涯にわたって運動を継続するための課題解決に向け思考し判断するとともに、自己や仲間の考えを他者に伝える力を育てる。 ● 運動における競争や協働の経験を通して、学びに向かう意欲を育てるとともに、健康安全を確保して生涯にわたって運動に親しむ態度を育てる。 						
評価の 観 点	① 知識及び技能		② 思考力・判断力・表現力等	③ 学びに向かう力・人間性			
	運動の特性に応じた段階的な技能を身につけている。 運動の実践に関する具体的な事項および、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための理論について理解している。		自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考え方などを他者に伝えることができる。	運動に主体的に取り組み、相手を尊重し、自己の責任を果たそうとするとともに、一人一人の違いを大切にしようとする事ができる。 健康安全を確保することができる。			
月	単元	時数	学習内容	評価方法	評価の観点		
					①	②	③
4	体づくり運動	9	集団行動 体ほぐし運動 体力を高める運動 新体力テスト	授業記録 学習カード	○ ○	○ ○	○ ○
5	陸上競技	16	陸上競技の競技特性やルール等を学習する。	授業記録 記録計測 技能テスト 学習カード	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○
6							
7	球技① サッカー、テニスより選択	18	特性とルールの理解 個人的技能 集団的技能 試合、審判法	授業記録 技能テスト 学習カード	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
	体育理論	2	運動やスポーツの効果的な学習の仕方	授業記録 学習ノート	○ ○	○ ○	○ ○
9	体づくり運動	2	体力を高める運動	授業記録 学習カード	○ ○	○ ○	○ ○
10	柔道、ダンスより選択	16	武道の理解、礼法 基本動作 対人的技能	授業記録 技能テスト 学習カード	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○

11	球技② ソフトボール、バレーボールより選択	20	<p>約束練習 試合、ルールと審判法</p> <p>ダンスの理解 とらえ方の学習 表し方の学習 まとめ方の学習、 発表、鑑賞</p>	<p>授業記録 技能テスト 学習カード</p>	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
12	体育理論	2	<p>運動やスポーツの効果的な 学習の仕方</p>	<p>授業記録 学習ノート</p>	○ ○	○ ○	○ ○
1	体づくり運動	2	<p>体力を高める運動</p>	<p>授業記録 学習カード</p>	○ ○	○ ○	○ ○
1	バスケットボール	20	<p>特性とルールの理解 個人的技能 集団的技能 試合、審判法</p>	<p>授業記録 技能テスト 学習カード</p>	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
2							
3	体育理論	2	<p>運動やスポーツの効果的な 学習の仕方</p>	<p>授業記録 学習ノート</p>	○ ○	○ ○	○ ○

シラバス 学校番号 1 1

令和 4 年度

富山県立富山西高等学校

単位数	教科(科目)	学年・組	教科書名	使用教材			
2	体育	第2学年(全)	Active sports2021 現代高等保健体育(大修館)				
指導の 目標	<ul style="list-style-type: none"> ● 運動の合理的、計画的な実践を通して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するため、運動の多様性や必要性について理解できるようにするとともに、それらの技能を身につけることができるようにする。 ● 生涯にわたって運動を継続するための課題解決に向け思考し判断するとともに、自己や仲間の考えを他者に伝える力を育てる。 ● 運動における競争や協働の経験を通して、学びに向かう意欲を育てるとともに、健康安全を確保して生涯にわたって運動に親しむ態度を育てる。 						
評価の 観点	① 知識及び技能		② 思考力・判断力・表現力等	③ 学びに向かう力・人間性			
	運動の特性に応じた段階的な技能を身につけている。 運動の実践に関する具体的な事項および、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための理論について理解している。		自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考え方を他者に伝えることができる。	運動に主体的に取り組み、相手を尊重し、自己の責任を果たそうとするとともに、一人一人の違いを大切にしようとする事ができる。 健康安全を確保することができる。			
月	単元	時数	学習内容	評価方法	評価の観点		
					①	②	③
4	体づくり運動	6	集団行動 体ほぐし運動 体力を高める運動 新体力テスト	授業記録 学習カード	○ ○	○ ○	○ ○
5	陸上競技	12	陸上競技の競技特性やルール等を学習する。	授業記録 記録計測 技能テスト 学習カード	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○
6							
7	球技① サッカー、テニスより選択	14	特性とルールの理解 個人的技能 集団的技能 試合、審判法	授業記録 技能テスト 学習カード	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
	体育理論	2	運動やスポーツの効果的な学習の仕方	授業記録 学習ノート	○ ○	○ ○	○ ○
9	体づくり運動	2	体力を高める運動	授業記録 学習カード	○ ○	○ ○	○ ○
10	球技② ソフトボール、バレーボールより選択	14	特性とルールの理解 個人的技能 集団的技能	授業記録 技能テスト 学習カード	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○

11		試合、審判法				
12	体育理論	2 運動やスポーツの効果的な学習の仕方	授業記録 技能テスト 学習カード	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
1	体づくり運動	2 体力を高める運動	授業記録 学習ノート	○ ○	○ ○	○ ○
2	バスケットボール	14 特性とルールの理解 個人的技能 集団的技能 試合、審判法	授業記録 学習カード	○ ○	○ ○	○ ○
3	体育理論	2 運動やスポーツの効果的な学習の仕方	授業記録 技能テスト 学習カード	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
			授業記録 学習ノート	○ ○	○ ○	○ ○

シラバス 学校番号 1 1

令和 4 年度

富山県立富山西高等学校

単位数	教科(科目)	学年・組	教科書名	使用教材			
2	体育	第3学年(全)	Active sports2020 現代高等保健体育(大修館)				
指導の 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ● 運動の合理的、計画的な実践を通して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するため、運動の多様性や必要性について理解できるようにするとともに、それらの技能を身につけることができるようにする。 ● 生涯にわたって運動を継続するための課題解決に向け思考し判断するとともに、自己や仲間の考えを他者に伝える力を育てる。 ● 運動における競争や協働の経験を通して、学びに向かう意欲を育てるとともに、健康安全を確保して生涯にわたって運動に親しむ態度を育てる。 						
評価の 観 点	① 知識及び技能		② 思考力・判断力・表現力等	③ 学びに向かう力・人間性			
	運動の特性に応じた段階的な技能を身につけている。 運動の実践に関する具体的な事項および、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための理論について理解している。		自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考え方などを他者に伝えることができる。	運動に主体的に取り組み、相手を尊重し、自己の責任を果たそうとするとともに、一人一人の違いを大切にしよう และสามารถ健康安全を確保することができる。			
月	単元	時数	学習内容	評価方法	評価の観点		
					①	②	③
4	体づくり運動	6	集団行動 体ほぐし運動 体力を高める運動 新体カテスト	授業記録 学習カード	○ ○	○ ○	○ ○
5	陸上競技	12	陸上競技の競技特性やルール等を学習する。	授業記録 記録計測 技能テスト 学習カード	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
6		23	特性とルールの理解 個人的技能 集団的技能 試合、審判法	授業記録 技能テスト 学習カード	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
7	球技① サッカー、テニス、 ソフトボールより 選択	3	豊かなスポーツライフの設計の仕方	授業記録 学習ノート	○ ○	○ ○	○ ○
	体育理論		体力を高める運動	授業記録 学習カード	○ ○	○ ○	○ ○
9	体づくり運動	2					
10	球技② バスケットボール、 バレーボール、バド ミントンより選択	23	特性とルールの理解 個人的技能 集団的技能 試合、審判法	授業記録 技能テスト 学習カード	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
11							
12	1		運動やスポーツの効果的な学習の仕方	授業記録	○	○	○
1	2	3	体育理論	学習ノート	○	○	○

シラバス 学校番号 1 1

令和 4 年度

富山県立富山西高等学校

単位数	教科 (科目)	学年・組	教科書名	使用教材			
2	芸術 (音楽 I)	1 学年選択者	MOUSA 1 (教育芸術社)				
指導の 目 標	<p><音楽 I の目標> 音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <p>(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>						
評価の 観 点	① 知識及び技能	② 思考力・判断力・表現力	③ 主体的に学習に取り組む態度				
	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱、器楽、創作で示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 				
月	単元	時数	学習内容	評価方法	評価の観点		
					①	②	③
4	◇オリエンテーション	2 6	<ul style="list-style-type: none"> ・音 I の内容や目標等を知る ・「校歌」練習 (斉唱) 	歌詞テスト 観察	○	○	
5	◇歌声を育てる		<ul style="list-style-type: none"> ・歌う姿勢、呼吸法、発声法に気をつけて歌う 				
6	◇表現 (歌唱)		<ul style="list-style-type: none"> ・日本や外国の歌唱曲に親しみ、曲の特徴を感じとり、イメージをもって歌う ・歌詞の内容、旋律の動きを捉え、楽曲に合うように表現を工夫する ・演奏者による表現の違いを比較、自身の表現を考える 	観察/ ワークシート	○	○	○
7	◇1 学期のまとめ ・歌唱発表 (独唱) ・筆記テスト		<ul style="list-style-type: none"> ・意図や目標をもって発表曲を選び、独唱を行う 	実技/筆記 (自己評価含)	○	○	
	◇楽譜の読み方		<ul style="list-style-type: none"> ・音高やリズム、楽譜の表記を理解し読譜や記譜する 				
	◇音楽を形づくる要素を知ろう		<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の諸要素が、楽曲のイメージと結びついていることを理解する 	観察/ワークシート	○	○	○
	◇曲の良さを伝えよう		<ul style="list-style-type: none"> ・クラシック音楽を 1 曲選択し、紹介文を書く 	レポート	○	○	○
9	◇日本語の語感を味わいながら歌おう	2 8	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語の語感を味わい、音楽の切なさを感じるコード進行を味わいながら歌う 	観察/ワークシート	○	○	○
1 0	◇CUPS でリズムをつくらう		<ul style="list-style-type: none"> ・コップで出せる色々な種類の音色を使い、リズムをつくる 	動画提出 ワークシート	○	○	○
1 1	◇管楽器の奏法 (リコーダー)		<ul style="list-style-type: none"> ・リコーダーの特徴を理解し、基礎的な奏法を身につけ、音色や奏法の特徴を活かして演奏する 	観察/ワークシート/ 実技発表	○	○	○
1 2	・アンサンブル発表		<ul style="list-style-type: none"> ・2～4 名の班に分かれ、アンサンブルの発表をめざし練習する ・イメージを共有し一体感のある表現を心がける 				

	◇西洋音楽史		・西洋音楽史の概要（時代の特徴と変遷）作曲家と作品について学び、音楽の味わい方の理解を深める	ワークシート/筆記 試験	○	○	○
	◇ミュージカルを鑑賞しよう		・ミュージカル作品の特徴や表現を学び鑑賞する	ワークシート/観察	○	○	
1	◇日本の伝統音楽の響きを味わおう	1 6	・邦楽器の基礎奏法を理解し演奏する ・日本の伝統音楽の響きを味わいながら鑑賞する	観察/ワークシート/ 実技	○	○	○
2	◇音楽の特徴と感情を結びつけて歌おう		・曲の特徴を読み取り、歌詞の意味や感情と結びつけて歌う	観察/ワークシート	○	○	○
3	◇変奏の面白さを味わおう ◇鑑賞 世界の諸民族の音楽		・自己のイメージに合った変奏をつくる ・国や地域ごとの特徴や良さを味わって鑑賞する	ワークシート/ 作品提出 鑑賞プリント	○	○	○
					○		

シラバス 学校番号 1 1

令和 4 年度

富山県立富山西高等学校

単位数	教科(科目)	学年・組	教科書名	使用教材			
2	芸術(美術 I)	1 年選択者	美術 I (光村図書)				
指導の 目 標	<p>(美術 I の目標) 美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>						
評価の 観 点	① 知識及び技能	② 思考力・判断力・表現力	③ 主体的に学習に取り組む態度				
	・対象や事象をとらえる造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。				
月	単元	時数	学習内容	評価方法	評価の観点		
					①	②	③
4 5 6 7	オリエンテーション 美術史・鑑賞 素描 「人物画」 「静物画」 「風景画」 絵画(アクリル) 「読書感想画」	4 6 1 6	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を知る。 ・基礎的内容を理解する。 ・対象を観察する。 ・鉛筆の種類を使い分け、明暗の調子を表現する。 ・鉛筆で構成を練る。 ・感想画の主題を考え、表現方法を工夫する。 ・アクリル絵具の特性を理解して使用する。 	ワークシート記述 制作途中評価 作品評価 提出用紙記述 ワークシート記述 制作途中評価 作品評価 提出用紙記述 小テスト	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
9 1 0 1 1 1 2	デザイン 文字の基礎、構成 「レタリング」 「名前の文字をデザインする」 映像メディア 「写真集を作る」	1 0 1 8	<ul style="list-style-type: none"> ・文字の成り立ちについて理解を深める。 ・創造的な表現の構想を練る。 ・レタリングを行う。 ・映像メディア(写真)の特性を生かして主題を生成する。 ・光や視点について考えて撮影する。 	ワークシート記述 制作途中評価 作品評価 提出用紙記述 ワークシート記述 制作途中評価 作品評価 提出用紙記述 小テスト	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

1	彫刻 「紙立体」 (ケント紙)	1 2	<ul style="list-style-type: none"> ・立体造形の特徴や、素材の特性を理解する。 ・表現方法を工夫する。 	ワークシート記述	○		○
2				制作途中評価	○	○	○
				作品評価	○	○	○
				提出用紙記述		○	○
3	鑑賞 「近代」		<ul style="list-style-type: none"> ・近代作家の作品を鑑賞し古典と現代のつながりを考える 	レポート評価	○		○

シラバス 学校番号 1 1

令和 4 年度

富山県立富山西高等学校

単位数	教科 (科目)	学年・組	教科書名	使用教材			
3	外国語 (英語コミュニケーション I)	1 学年 (全クラス)	BIG DIPPER English Communication I	BIG DIPPER English Communication I ベーシックノート ワークブック			
指導の 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・英語を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。 ・情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸長する。 ・英語学習を通して、多様なものの見方や考え方を理解し、広い視野から国際理解を深める。 						
評価の 観 点	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> ① 知識及び技能 ・学習内容について、背景知識をもとに理解できる。 ・質問や会話に、簡単な表現を使って答えることができる。 </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> ② 思考力・判断力・表現力 ・本文を聞いたり読んだりして、話し手や聞き手の意図を把握することができる。 ・学習した表現を活用して、簡潔にまとめたり、発表したりすることができる。 </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・聞き手に伝わるように音読や暗唱を行うことができる。 ・話題について、自分の意見を持つことができる。 ・話題について、自分の意見を伝えたり、他者と意見の交換をしたりすることができる。 </td> </tr> </table>				① 知識及び技能 ・学習内容について、背景知識をもとに理解できる。 ・質問や会話に、簡単な表現を使って答えることができる。	② 思考力・判断力・表現力 ・本文を聞いたり読んだりして、話し手や聞き手の意図を把握することができる。 ・学習した表現を活用して、簡潔にまとめたり、発表したりすることができる。	③ 主体的に学習に取り組む態度 ・聞き手に伝わるように音読や暗唱を行うことができる。 ・話題について、自分の意見を持つことができる。 ・話題について、自分の意見を伝えたり、他者と意見の交換をしたりすることができる。
① 知識及び技能 ・学習内容について、背景知識をもとに理解できる。 ・質問や会話に、簡単な表現を使って答えることができる。	② 思考力・判断力・表現力 ・本文を聞いたり読んだりして、話し手や聞き手の意図を把握することができる。 ・学習した表現を活用して、簡潔にまとめたり、発表したりすることができる。	③ 主体的に学習に取り組む態度 ・聞き手に伝わるように音読や暗唱を行うことができる。 ・話題について、自分の意見を持つことができる。 ・話題について、自分の意見を伝えたり、他者と意見の交換をしたりすることができる。					
月	単元	時数	学習内容	評価方法	評価の観点		
					①	②	③
4	Lesson1 Have a Good Day with a Good Breakfast	36	朝食の大切さについて理解する。朝食の作り方のレシピを読み、特有の表現を理解する。バランスの良い朝食について、自分の考えを書く。 【文法】 時制	授業中の活動 暗唱テスト パフォーマンステスト 小テスト 定期考査	○	○	○
5	Lesson2 A Mascot with Mission		日本のマスコット文化 (ゆるキャラ文化) について理解する。 新聞記事を読み、くまモンの活動について理解する。聞いたり読んだりしたことについて自分の考えを書く。 【文法】 不定詞・動名詞		○	○	○
6			時制・不定詞・動名詞		○	○	○
7	Grammar for Exression1 Lesson3 Two Kinds of Leadership		2種類のリーダーシップについて理解する。チェックリストを読み、自分のリーダーとしての適性をチェックする。自分が学級委員長になったらやりたいことについて、理由を示して自分の考えを書く。 【文法】 文型 色々なスポーツの歴史や魅力を理解する。 ブログを読み、最新のスポーツについて考える。eスポーツについて、自分の考えを書く。 【文法】 比較		○	○	○
中間							
7 期末							

9 10 中間	Lesson4 Older Sports and Newer Sports	2 4	文型・比較	授業中の活動 暗唱テスト パフォーマンス テスト 小テスト 定期考査	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	Grammar for Expression2		AIによる芸術について考える。インタ ビューを読み、それぞれの意見を理解す る。AIによる芸術について、理由を示し て自分の考えを書く。 【文法】分詞・形式主語		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	Lesson5 AI Meets the Arts		図表と併せて英文を読み、日本と世界 の幸福度について理解する。ドミニカの 幸福度が高い理由を考える。 【文法】完了形		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	Lesson6 What Is Happiness?		モルディブが抱える問題について理 解する。新聞記事を読み、日本の観光地 が抱える問題を理解する。観光公害の解 決法を書く。 【文法】知覚動詞、使役動詞		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
11 12 期末	Lesson7 The Maldives: A Dream Destination?	2	Kazuhiroがどのようにして夢を叶え たのかを理解する。プレゼンテーショ ンの内容を読み、話し手が伝えたいこと を理解する。 【文法】関係詞	使役・知覚動詞・関係詞	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	Lesson8 Kazuhiro: In Pursuit of a Dream					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
1 2 3	Lesson9 From Recycle to Upcycle	2 7	ゴミの再利用の新しい形について知 る。様々な人の意見を読む。ゴミを減ら すために心がけていることを書く。 【文法】分詞構文・間接疑問文	授業中の活動 暗唱テスト パフォーマンス テスト 小テスト 定期考査	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	Lesson10 Diversity at Japanese Companies		日本企業の様々な取り組みを理解する。求 人広告を正しく読み取る。女性の就業状況 について自分の考えを書く。 【文法】仮定法過去		分詞構文・間接疑問文・仮定法過去	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	Grammar for Expression5					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

シラバス 学校番号 11

令和4年度

富山県立富山西高等学校

単位数	教科 (科目)	学年・組	教科書 名	使用教材			
2	家庭 (家庭基礎)	1学年 普通科	家庭基礎 自立・共生・ 創造 (東京書籍)				
指導 の 目標	1. 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識と技術を身につける。 2. 習得した知識や技術を活用し、家庭や地域及び社会における生活課題を解決する力を養う。 3. 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。						
評価 の 観点	① 知識及び技能 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	② 思考力・判断力・表現力 生涯を見通して、家庭や地域及び、社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	③ 主体的に学習に取り組む態度 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。				
月	単元	時 数	学習内容	評価方法	評価の観点		
					①	②	③
4	第1章 生涯を見通す	3	・自立した生活を営むためにライフステージの特徴や課題を理解する。	プリント 課題	○	○	○
	第2章 人生をつくる	5	・生涯を見通して自分のライフスタイルを考えることができるように、様々な生き方について理解する。	プリント レポート 課題	○		○
5	第3章 子どもと共に育つ	8	・家庭生活の意義と現代の家族に求められる機能について理解する。 ・子どもの人間形成に関わる親の役割について理解する。 ・社会全体で子育てを支援していくための方策について考える。	プリント 課題 レポート	○	○	○
中間			・子どもが健やかに育つ社会をどのように実現すればよいか考え、実践しようとする。	考査 プリント	○	○	○
6	第7章 衣生活をつくる	10	・被服の役割や選択、購入する際の注意点を理解する。 ・環境に配慮した衣生活について考え、被服の手入れや洗濯、保管の注意点を学習する。 ・縫いものなどの基本的な知識と技術を学習する。	課題 プリント プリント	○	○	○
7 期末				プリント 提出作品 考査 プリント	○	○	○
夏季 休業	ホーム プロジェクト		・生活の中の問題点を見出し、それを解決するための実践活動を行う。	課題	○	○	○

9	第6章 食生活をつくる	14	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の食生活の課題について学習する。 ・栄養素の種類や機能を理解し、栄養のバランスのとれた食事を考える。 	プリント	○	○	○
				プリント	○	○	○
10			<ul style="list-style-type: none"> ・食品の栄養的特徴と調理上の性質について学習する。 ・栄養や食品、調理法について理解し、調理実習を通して調理の基本的技術を学ぶ。 	プリント	○	○	○
				プリント 実習 レポート 考査	○	○	○
中間							
11	第4章 超高齢社会を共に生きる	5	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の特徴や高齢者を取り巻く社会情勢について学習する。 ・高齢期を支える社会の仕組みや課題、私達にできる適切な支援の方法や関わり方を考える。 	プリント	○	○	○
				レポート プリント	○	○	○
期末	第5章 共に生き、共に支える	3	<ul style="list-style-type: none"> ・国、地方公共団体の制度などの支援体制、支え合いの構造について理解する。(社会保障と福祉サービス) 	実習 レポート プリント	○	○	○
				考査	○	○	○
1	第9章 経済生活を営む	10	<ul style="list-style-type: none"> ・販売方法や支払い方法が多様化する中で責任ある消費行動が取れるよう、契約の重要性を理解する。 ・消費者問題を知り、その対策について学ぶ。 ・社会経済と家庭経済の関係について学習する。 	プリント	○	○	○
				プリント 課題	○	○	○
2	第10章 持続可能な生活を営む	3	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会を構築するために、持続可能な消費や生活について理解し、ライフスタイルを工夫する。 ・一人の主体者として、社会全体をよりよい方向に動かしていこうとする。 	プリント	○	○	○
				プリント 発表	○	○	○
学年末	第8章 住生活をつくる	4	<ul style="list-style-type: none"> ・住居の機能やライフステージごとの住要求について学習する。 ・快適な住まいの条件について理解する。 	プリント	○	○	○
				プリント	○	○	○
学年末	第11章 これからの生活を創造する	2	<ul style="list-style-type: none"> ・自分らしいライフスタイルを描きながら、生活設計を考える。 ・持続可能な社会を構築していくために、何ができるか考えて実践しようとする 	プリント	○	○	○
				プリント 発表 考査	○	○	○

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
情報Ⅰ	1学年	2	高等学校 情報Ⅰ (第一学習社)	情報Ⅰ 学習ノート (第一学習社)
科目の概要と目標	1 情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を習得する。 2 情報を意欲的に利用し、主体的に活用しようとする態度を育てる。 3 情報を扱う道具として、コンピュータをある程度は使いこなせるようにする。			
単元	学習内容	到達度目標		
第1章 情報の活用と表現	<ul style="list-style-type: none"> ・情報とその活用 ・情報の表現 	情報の活用や情報の表現について理解する。		
第2章 情報通信ネットワークとコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション手段の発達 ・情報通信ネットワークの仕組み ・ネットワークコミュニケーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション手段の発達や通信サービスの特徴、情報通信ネットワークの仕組み、ネットワークとコミュニケーションについての知識が技能について理解する。 ・情報社会に参画する上での必要な知識を身につける。 		
第3章 情報社会の仕組みと安全性	<ul style="list-style-type: none"> ・情報システム ・情報社会の法と個人の責任 ・情報社会と安全性 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報システムの構造やはたらき、危険な面について理解する。 ・情報社会で暮らすための法と個人の責任についての知識や情報セキュリティの必要性について理解する。 		
第4章 情報社会と問題解決	<ul style="list-style-type: none"> ・情報化の光と影 ・情報技術と人間 ・問題とその解決 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報技術が人間の生活にもたらした影響や問題、その解決の手順や手法について理解する。 		
第5章 総合実習	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信のプロセス 	情報発信のためのプロセスや手順を理解させる。		